

經濟論叢

第109卷 第1号

出口勇藏教授記念號

献 辞	大野英二	
社会科学の「科学性」	河野健二	1
貨幣価値をめぐるリカードとマルクス	行沢健三	18
資本と分配の理論について	菱山泉	41
ルカーチとハンガリア・ソヴィエト共和国	平井俊彦	64
W. バジョットのアダム・スミス論	岸田理	85
実質費用論と機会費用論	高橋正立	108
B. B. ペルビーフロフスキー論序説	松岡保	131
晩年のマルクス覚え書	田中真晴	150

出口勇藏 教授 略歴・著作目録

昭和47年1月

京 都 大 学 經 濟 學 會



出口勇藏教授近影

出口勇蔵 教授 記念論文集

献 辞

出口勇蔵先生は来年1月23日に満63歳の誕生日をお迎えになり、来春3月31日に経済学部の教壇から退かれます。世代の転変を感じざるをえません。

戦時中に瀋陽の紙価を高からしめた『経済学と歴史意識』をはじめとする一連のご労作から明らかなように、先生は経済学史、社会思想史、経済哲学などの諸分野において開拓者的な役割を果たされ、なかならず、日本のマックス・ヴェーバー研究に不朽の足跡を残しておられます。

もとより、先生のご貢献はこのような研究活動やこれと相即不離の教育活動の範囲にとどまるものではありません。学内では、上野文庫解題目録の作成、経済学部50年略史の編纂など、学外では、代表幹事をされている日本経済学史学会をはじめ経済理論学会、アダム・スミスの会における学会活動など、特記さるべきであります。

京都大学経済学会は、先生の平素の学恩に謝意をあらわすべく、『経済論叢』の新春1月号を記念号として編集することとなりました。先生の影響をうけ、あるいは指導をうけた後進の方々の清冽な力作を一冊にまとめた記念号を先生に捧げうことは、わたくしども一同のこのうえない慶びとするところであります。

先生がますますご清祥におすごしになり、今後もいっそう学界のためにご活躍なさることを心から祈ってやみません。

1971年12月9日

経済学部長 大野英二